

2025年 視覚障がい者のパブリックトイレ利用に 関するアンケート調査

TOTO株式会社

1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

2-4 パブリックトイレへの要望

3 まとめ

1. 調査概要

調査背景 視覚に障がいを持つ方は約31万人※。
2007年には「公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置」（以下、公共トイレ操作系JIS）に関するJIS規格（JIS S 0026）が制定された。
公共トイレ操作系JISの普及と合わせ、トイレ計画やその他配慮すべき事項のさらなる改善により、視覚に障がいを持つ方が外出しやすい環境整備が望まれる。
※2006年厚生労働省「身体障害児・者等実態調査」より

調査目的 ひとりでも多くの人が利用しやすいパブリックトイレの実現に向け、視覚に障がいを持つ方の外出先のトイレ利用時の困りごとや意識、利用実態を把握し、今後のパブリックトイレの在り方や求められる配慮・設備について確認するため調査を実施した。

調査対象

- ・ 視覚や視野に障がいを持つ方
- ・ 外出先のパブリックトイレを月1回以上利用している方

回答数 418名（全盲者：291名、弱視者：127名）

調査方法 アンケート票配布/回収（視覚障がい者団体協力）

実施期間 2024年12月～2025年2月

1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

2-4 パブリックトイレへの要望

3 まとめ

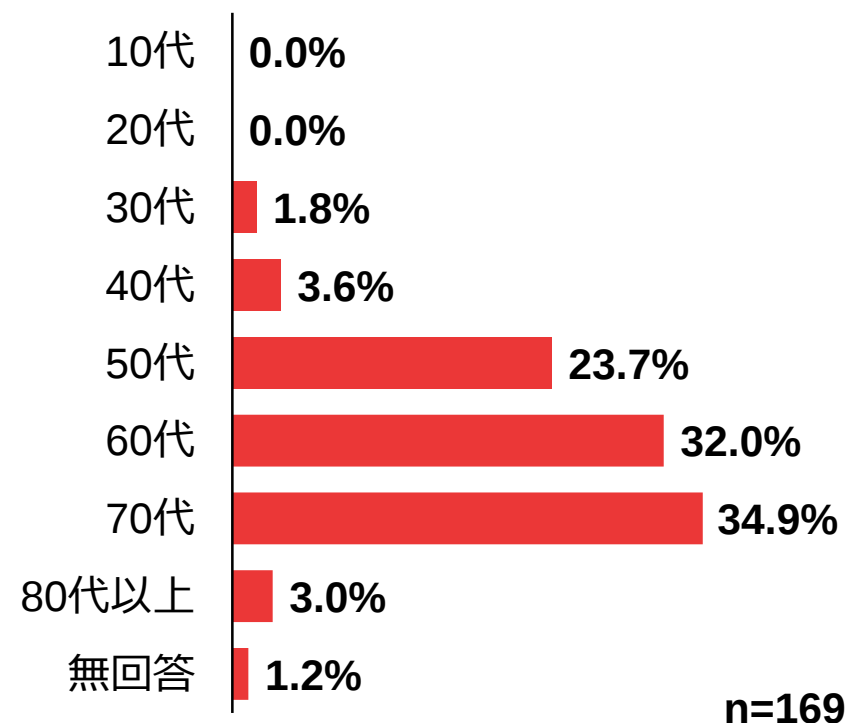
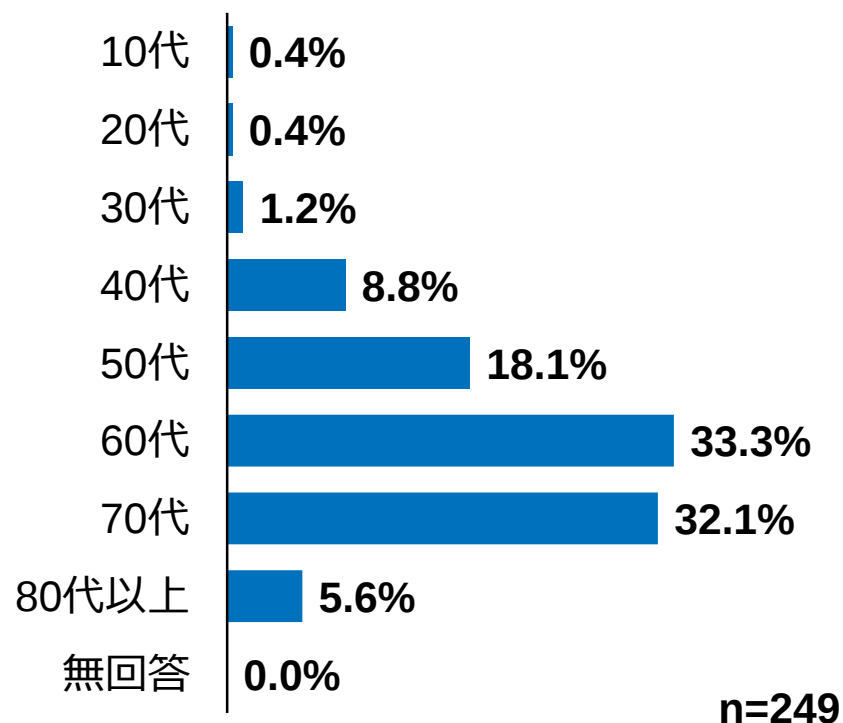
2-1.回答者属性【男女比・年齢】

男女比

男性...

女性...

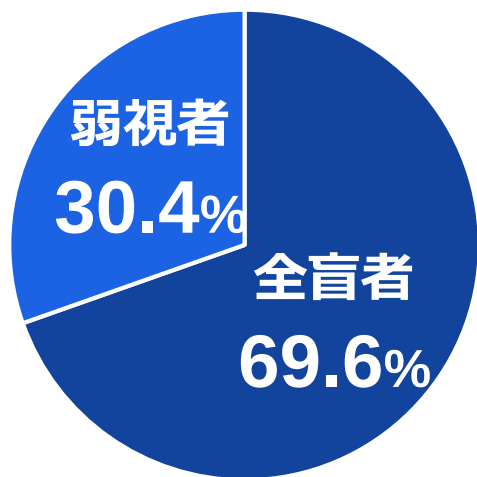
年齢



2-1.回答者属性【全盲者と弱視者の割合・見え方】

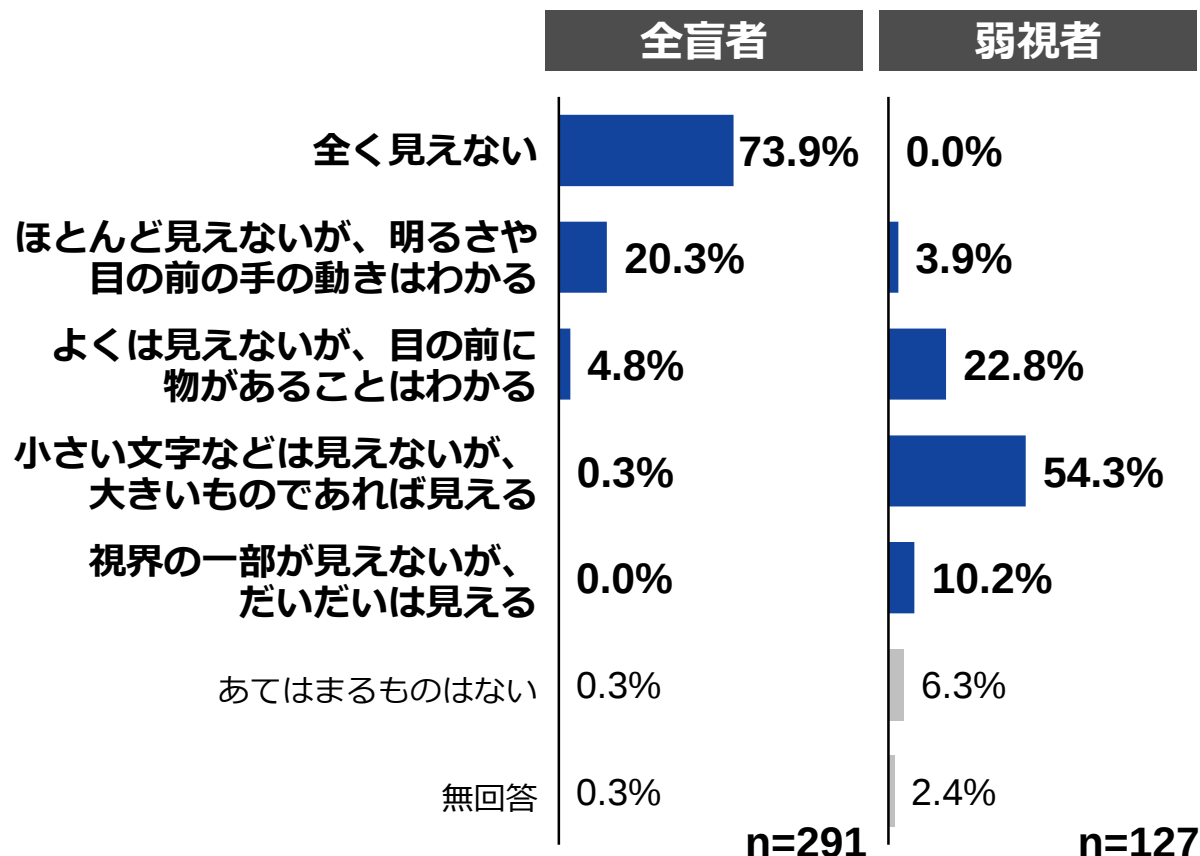
- 全盲者と弱視者の割合は、全盲者69.6%、弱視者30.4%
- 全盲者の73.9%は「全く見えない」、弱視者の54.3%は「小さい文字などは見えないが、大きいものであれば見える」と回答

全盲者と弱視者の割合



n=418

見え方について



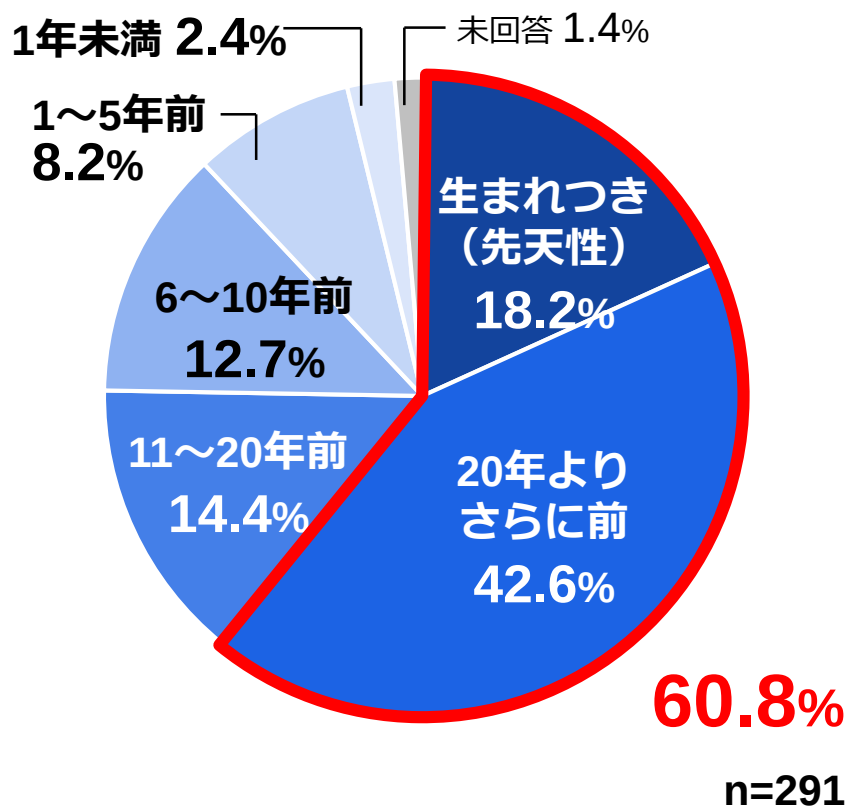
n=291

n=127

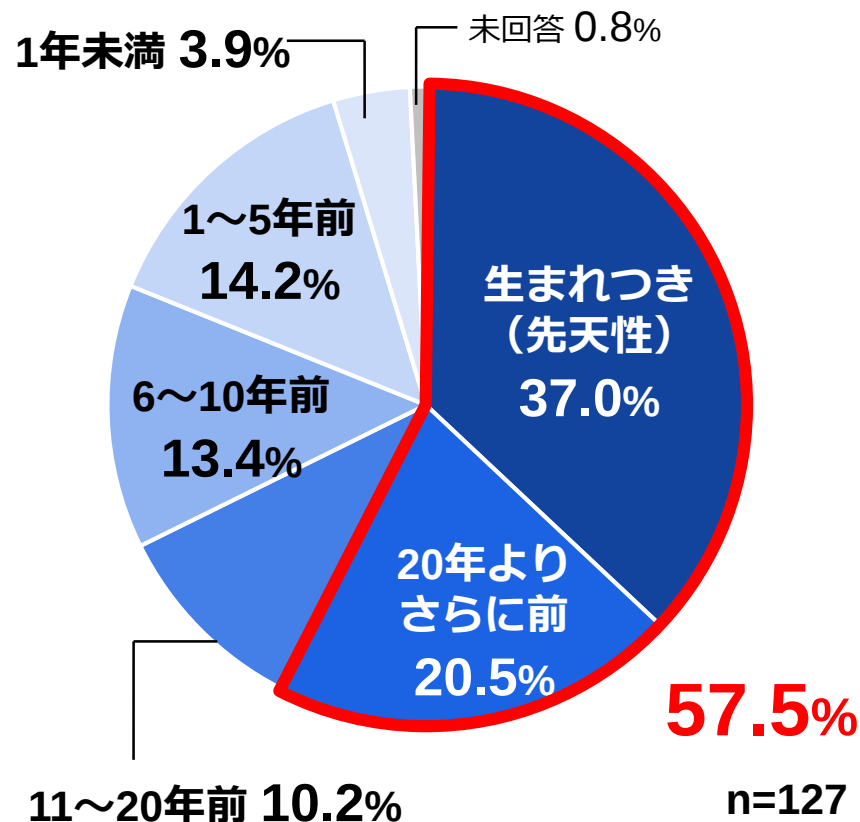
2-1.回答者属性【現在の見え方になった時期】

- 全盲者の60.8%、弱視者の57.5%が「生まれつき（先天性）」もしくは「20年よりさらに前」と回答

全盲者



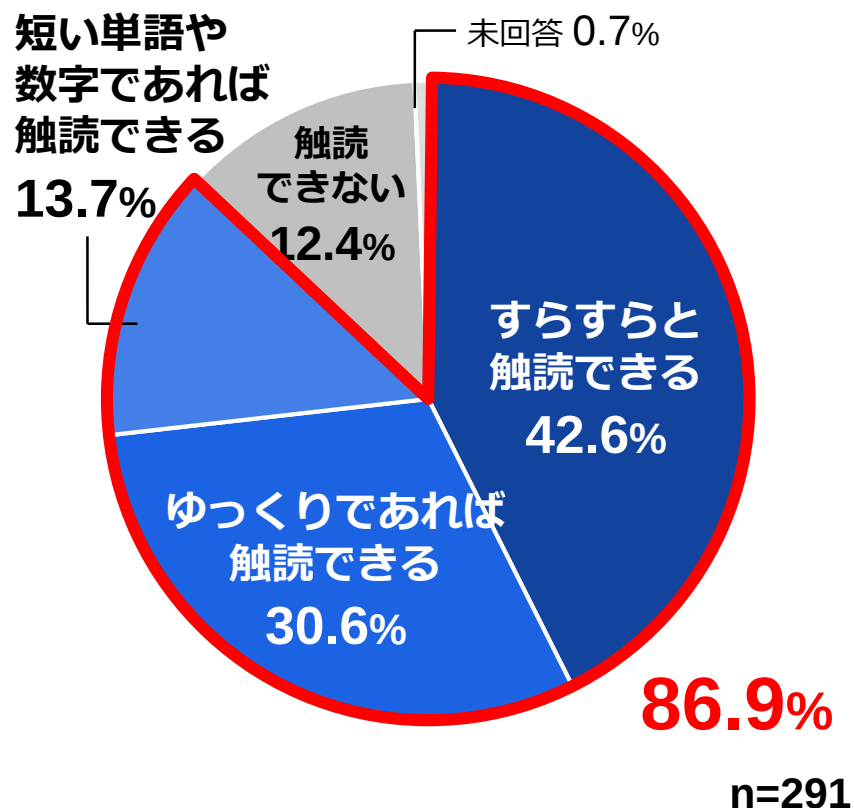
弱視者



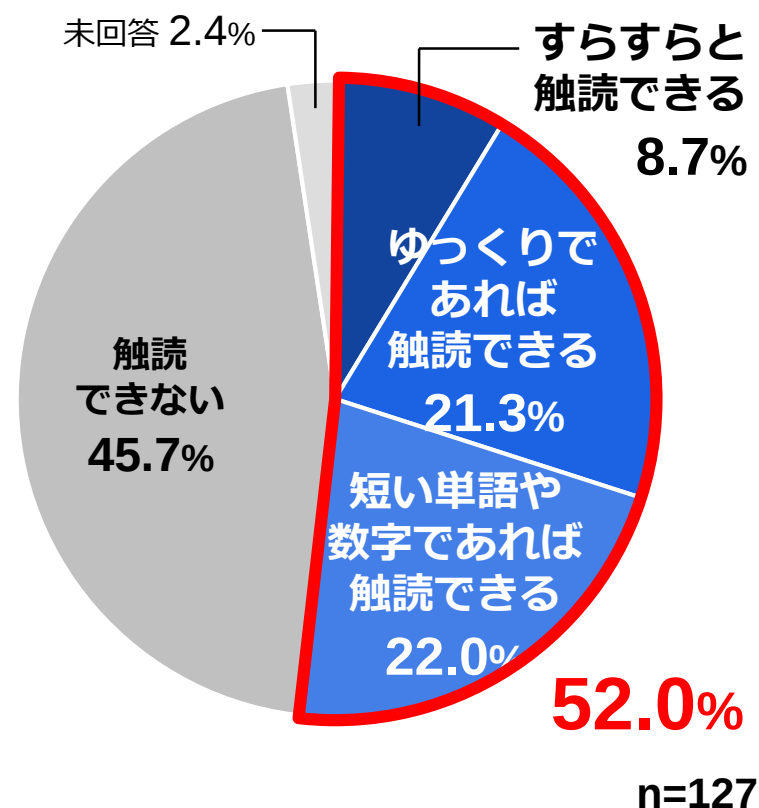
2-1.回答者属性【点字の触読の状況について】

- 全盲者の86.9%、弱視者の52.0%の方が、短い単語、数字であれば触読できる

全盲者



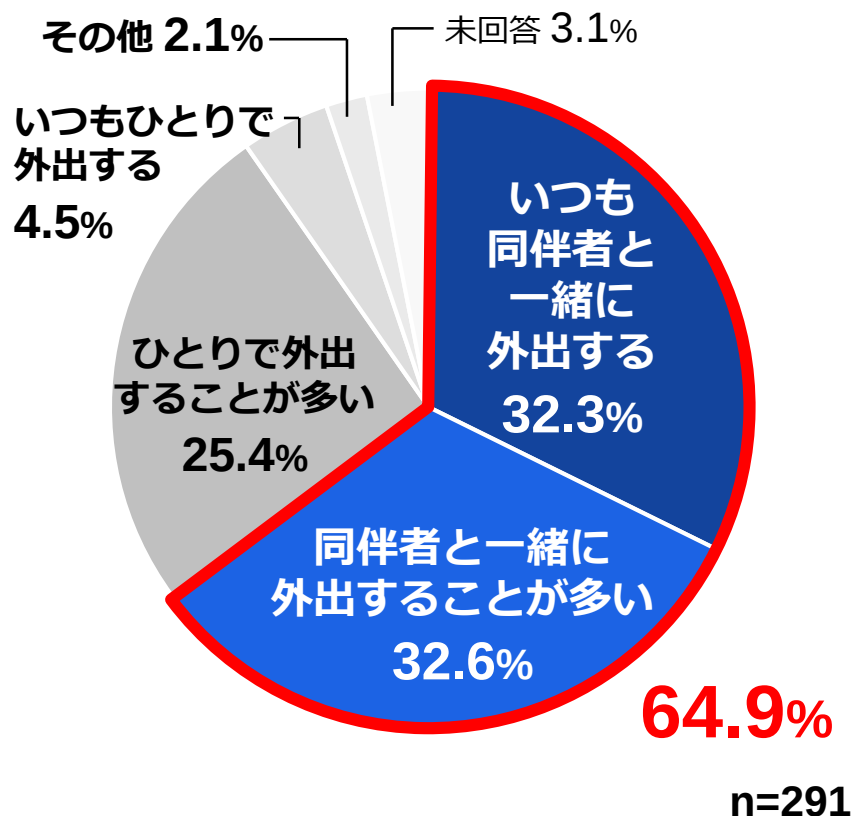
弱視者



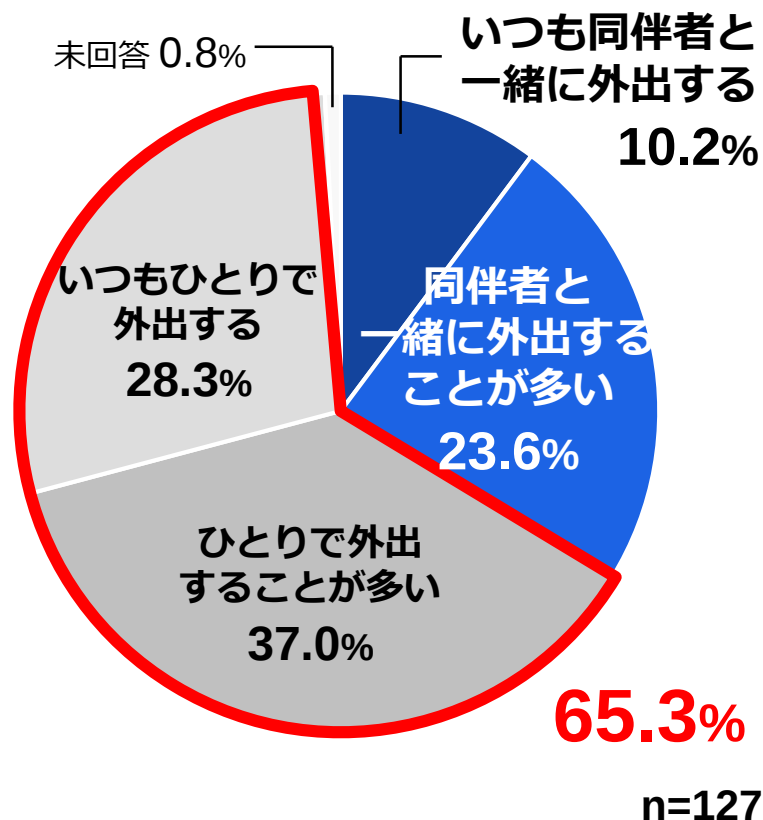
2-1.回答者属性【日常的な外出の状況】

- 全盲者の64.9%は「いつも同伴者と一緒に外出する」または「同伴者と外出することが多い」
- 弱視者の65.3%は「いつもひとりで外出する」または「一人で外出することが多い」

全盲者

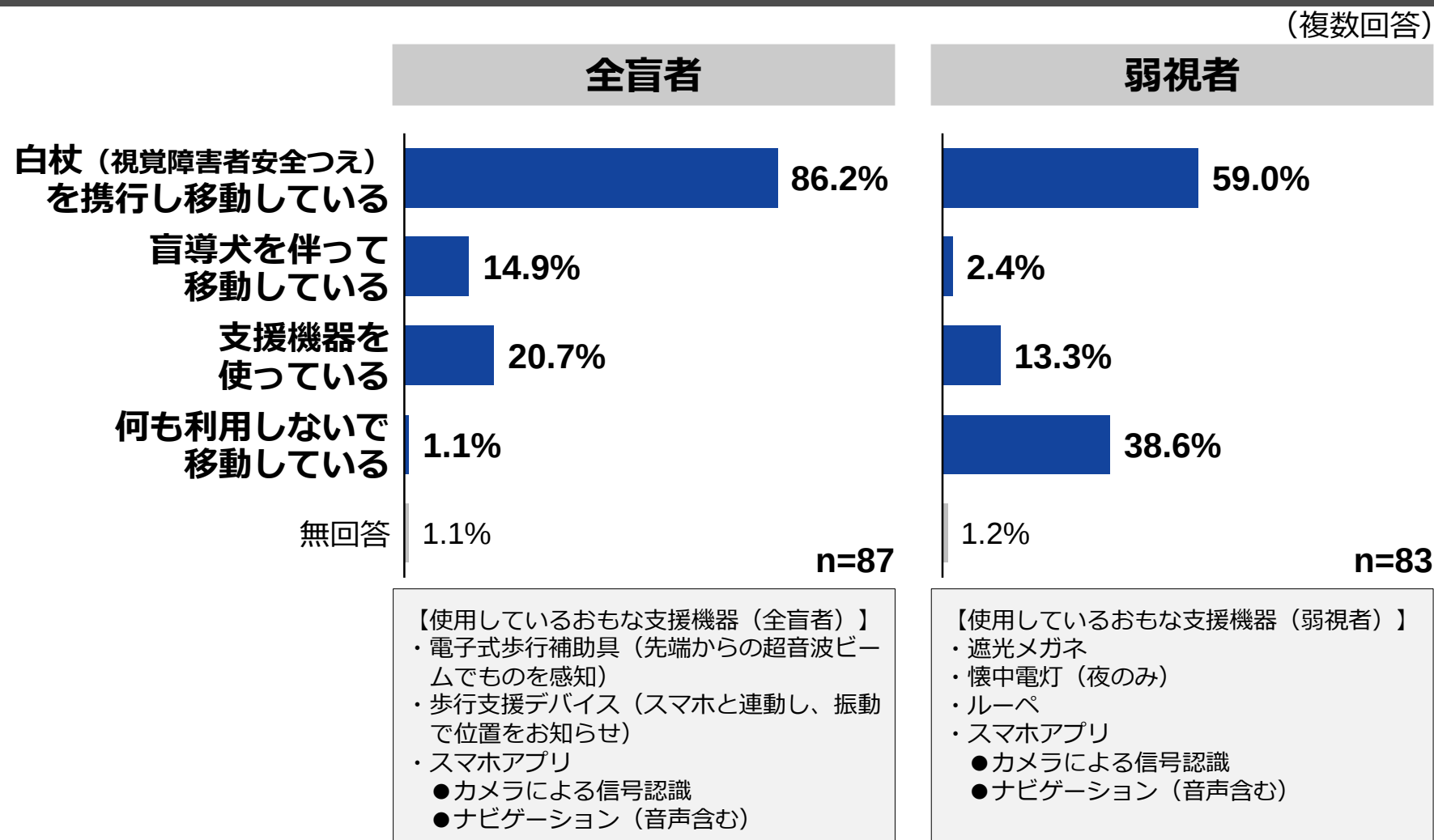


弱視者



2-1.回答者属性【外出時に使用している支援機器】

- 全盲者の20.7%が支援機器を使用し、14.9%が盲導犬を伴って移動している
- 弱視者の38.6%は白杖や支援機器など何も使用せずに移動している



1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

2-4 パブリックトイレへの要望

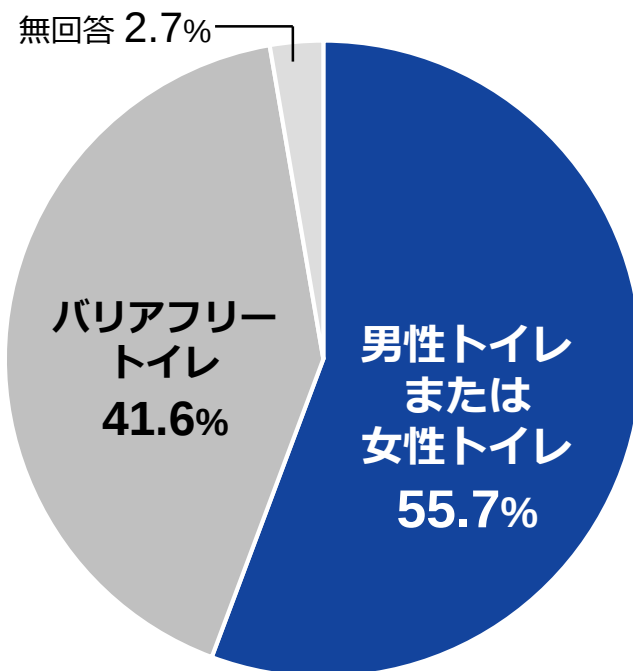
3 まとめ

2-2.パブリックトイレ利用実態【外出時に利用したいトイレの種類】

- 全盲者の55.7%、弱視者の79.5%が「男性トイレまたは女性トイレ」を利用したい

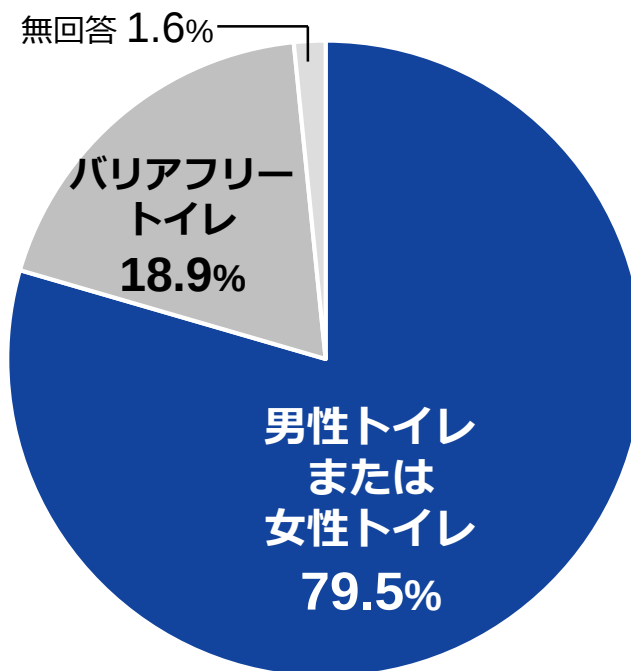
Q 1 | バリアフリートイレ、男性トイレ、女性トイレがある場合、あなたがもっとも利用したいトイレはどれですか。

全盲者



n=291

弱視者



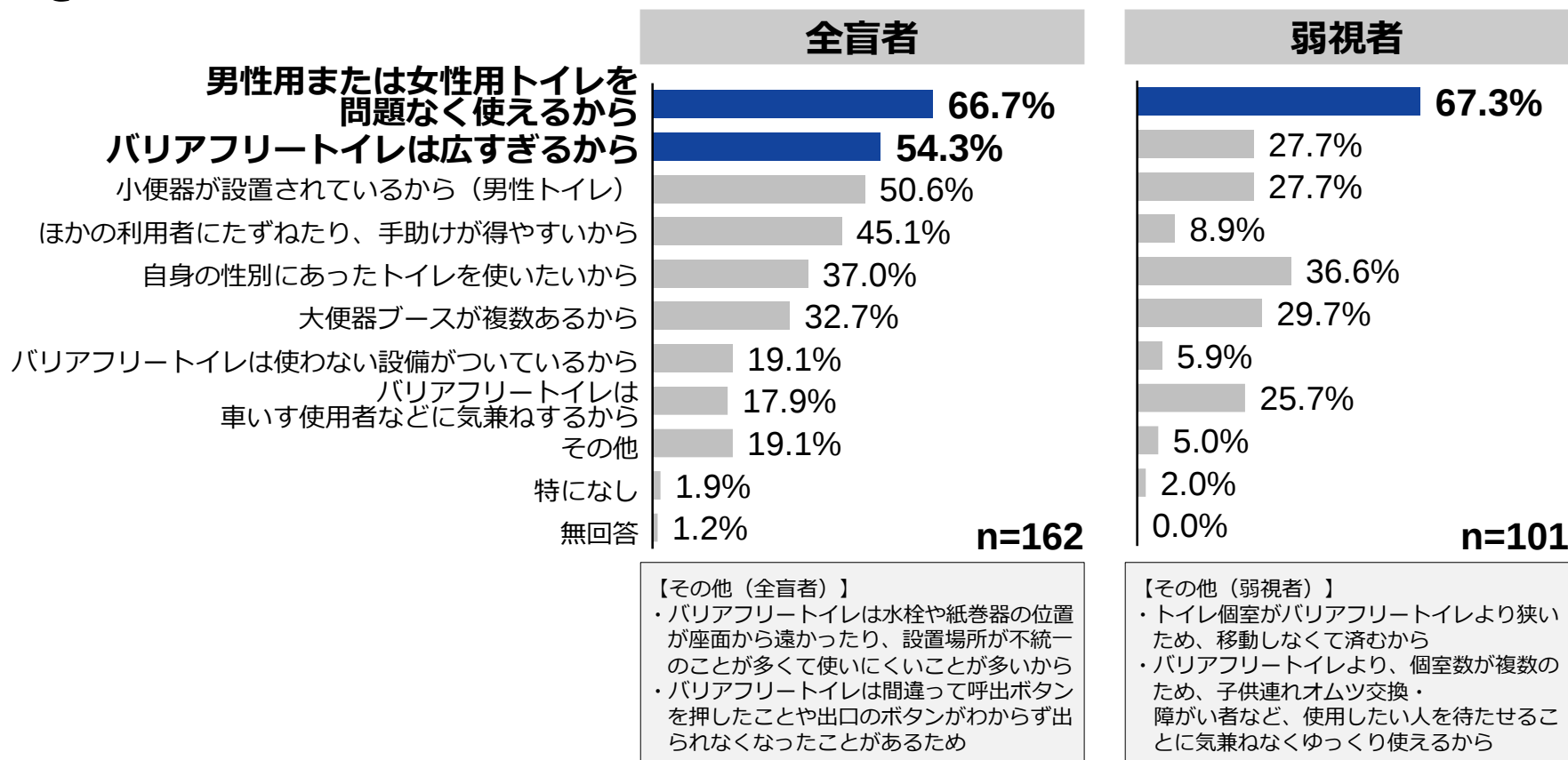
n=127

2-2.パブリックトイレ利用実態【男女別トイレを選ぶ理由】

- 全盲者の66.7%、弱視者の67.3%が「男性用または女性用トイレを問題なく使えるから」
- 全盲者の54.3%が「バリアフリートイレは広すぎるから」

Q1で「男性用または女性用トイレを利用したい」と回答した方に伺います。（複数回答）

Q 2 | 男性用または女性用トイレを選ぶ理由で、あてはまるものを全てお選びください。



2-2.パブリックトイレ利用実態【バリアフリースイレを選ぶ理由】

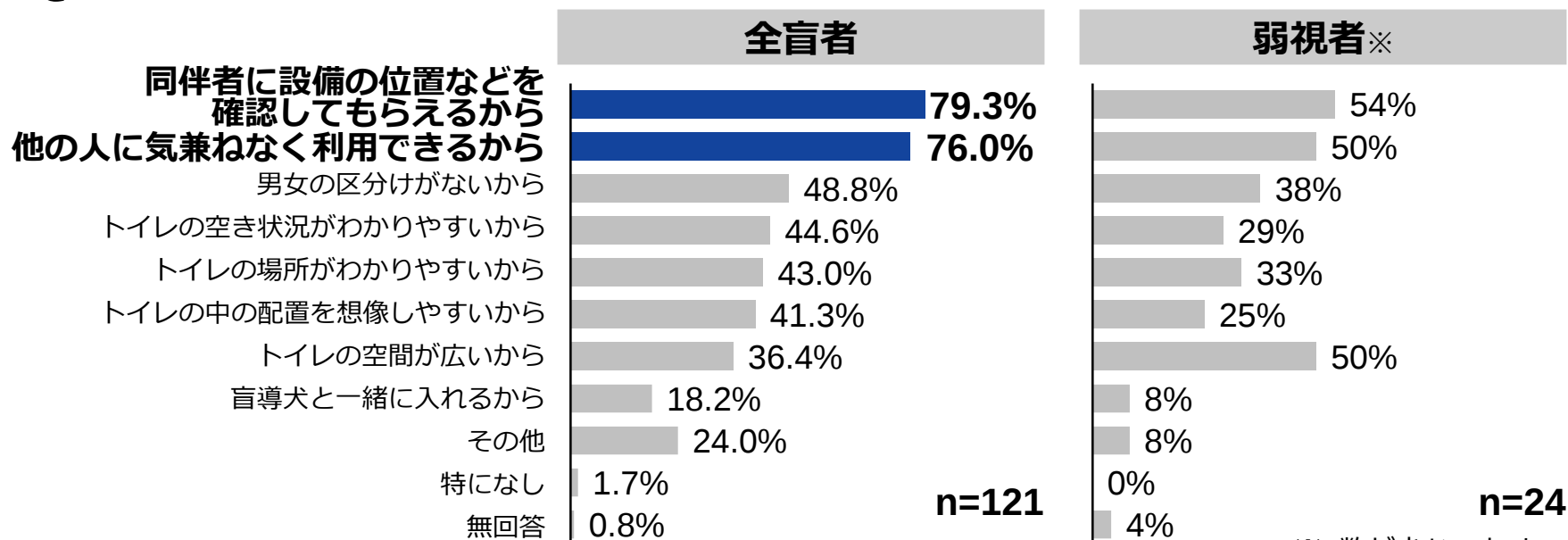
- 全盲者の79.3%が「同伴者に設備の位置などを確認してもらえるから」、76.0%が「他の人に気兼ねなく利用できるから」と回答

Q1で「バリアフリースイレを利用したい」と回答した方に伺います。

(複数回答)

Q 3

バリアフリースイレを選ぶ理由で、あてはまるものを全てお選びください。



※n数が少ないため、参考値として掲載

【その他（全盲者）】

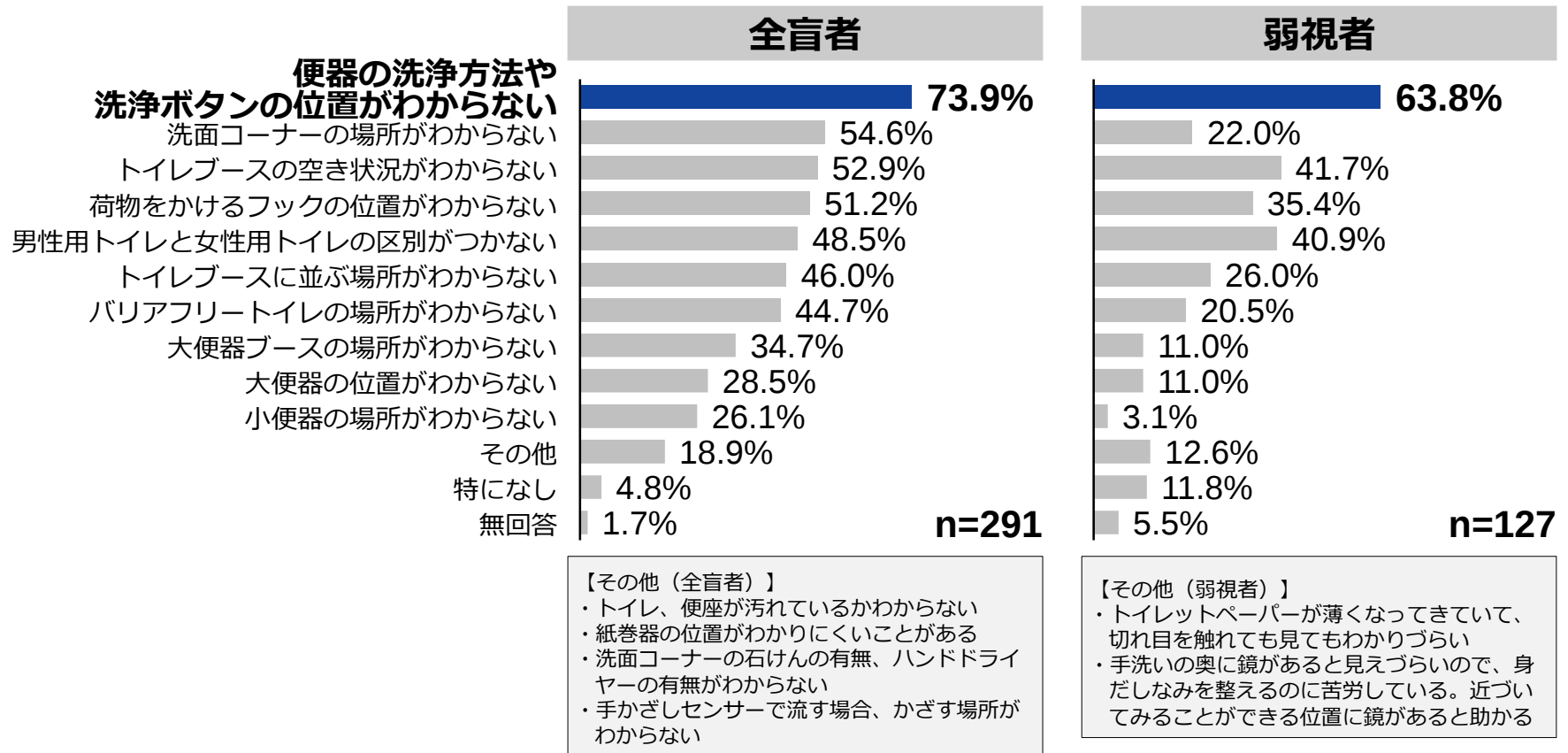
- ・トイレの個室に到達するまでの複雑さを回避できるから
- ・一人で外出する際に、同性・異性関係なくトイレまでの誘導を周囲の人をお願いしやすいから
- ・手洗いを同伴者に教えてもらわなくても、自分できちんと洗って出られるから

2-2.パブリックトイレ利用実態【外出先トイレの利用上の困りごと】

- 全盲者の73.9%、弱視者の63.8%が、
「便器の洗浄方法や洗浄ボタンの位置がわからない」と回答

(複数回答)

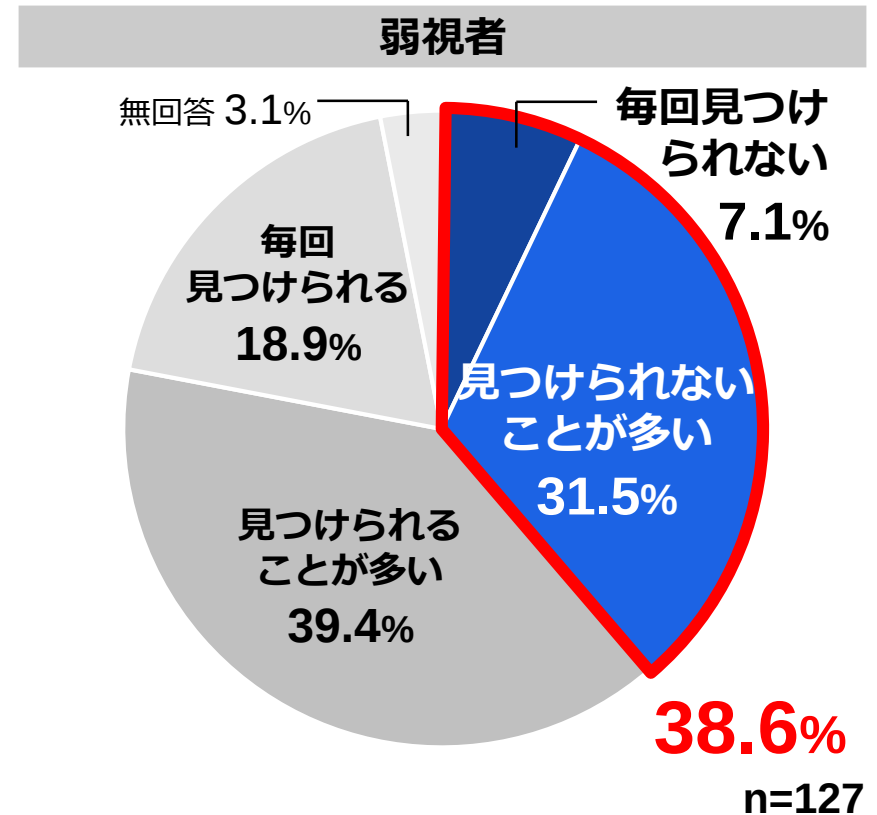
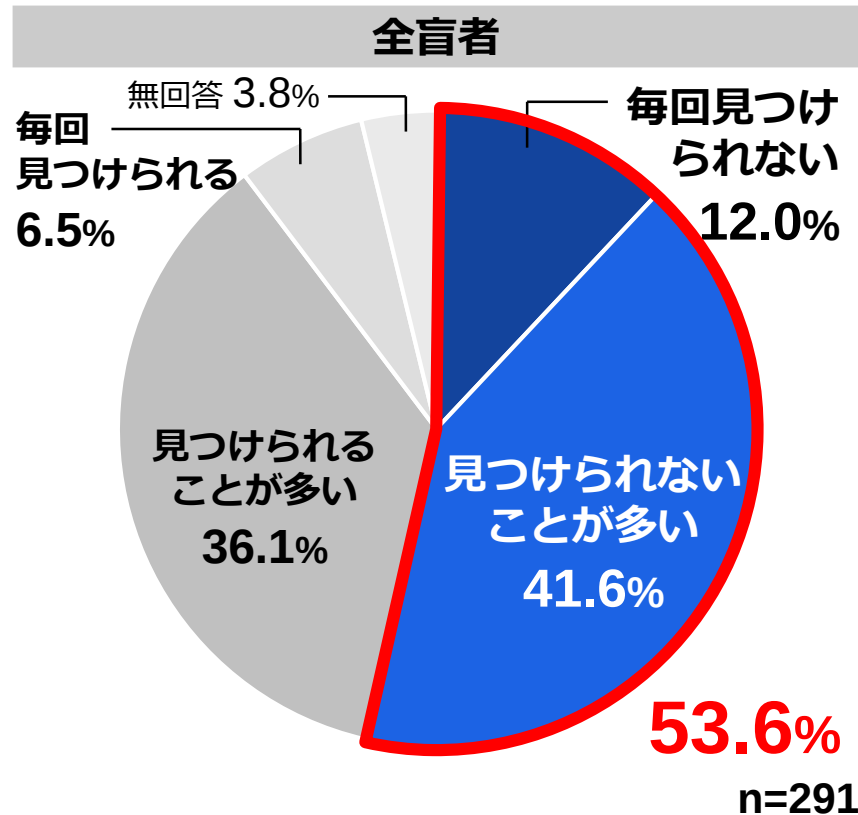
Q 4 | 外出先のパブリックトイレを利用する上での困りのことについて、あてはまるものを全てお選びください。



2-2.パブリックトイレ利用実態【外出先トイレの洗浄ボタンについて】

- 全盲者の53.6%、弱視者の38.6%が、大便器の洗浄ボタンを「毎回見つけられない」、「見つけられないことが多い」と回答

Q 5 | 外出先のトイレで大便器を利用する際、洗浄ボタンが見つけられないことはありますか？



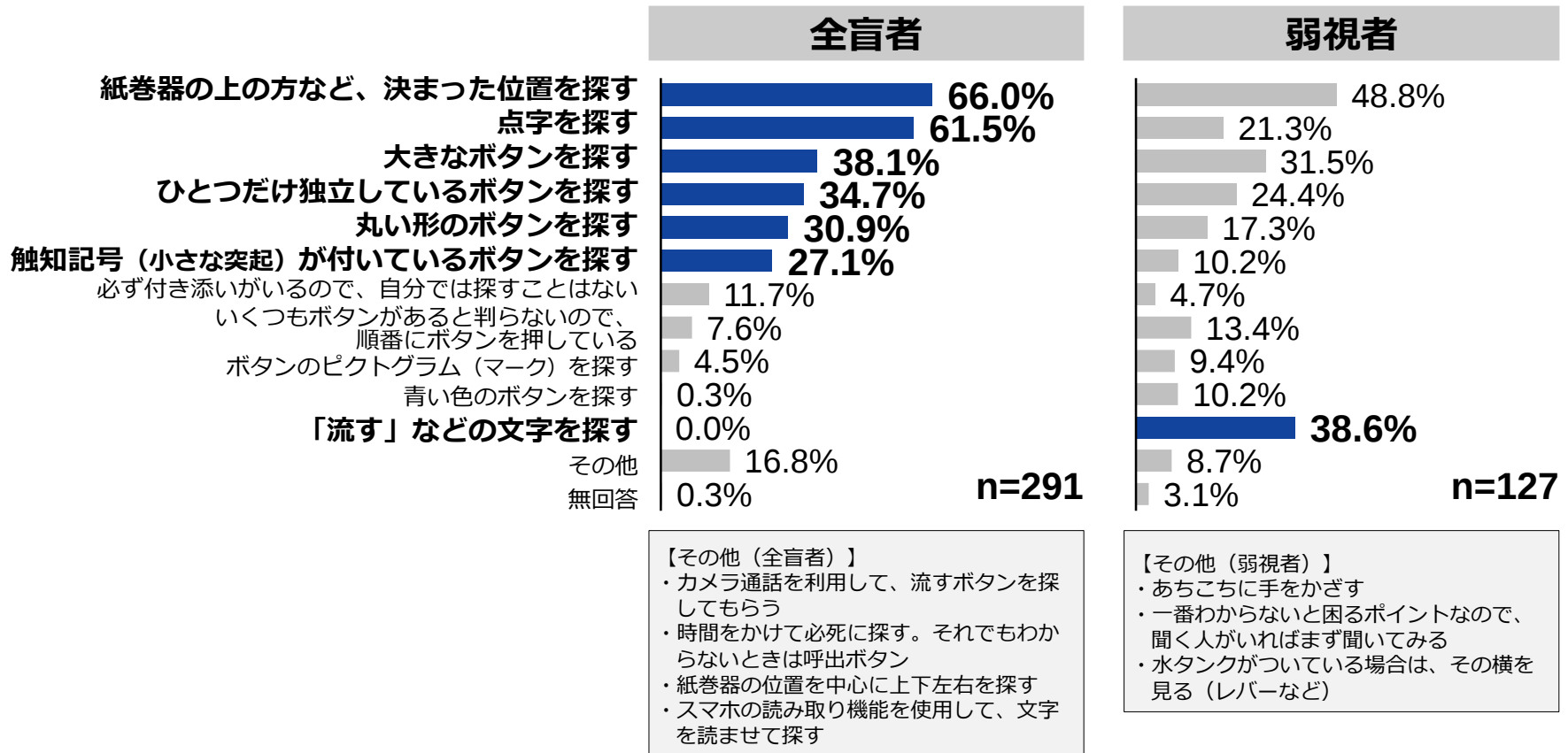
2-2.パブリックトイレ利用実態【外出先トイレの洗浄ボタンの探し方】

- 全盲者は「紙巻器の上など、決まった位置を探す」に続いて、点字、大きなボタン、ひとつだけ独立しているボタン、丸い形、触知記号を頼りに探している
- 弱視者の38.6%は、流すなどの文字で洗浄ボタンを探している

(複数回答)

Q 6

付き添いなど周囲の人に教えてもらうことなく、ご自身で便器の水を流すボタンを探す場合、どのようにボタンを探しますか？

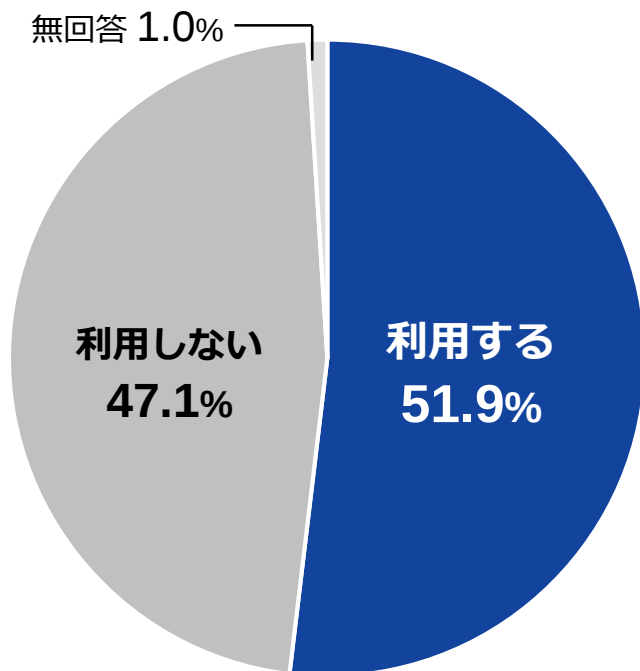


2-2.パブリックトイレ利用実態【温水洗浄便座の利用状況】

- 全盲者の51.9%、弱視者の51.2%が、外出先トイレの温水洗浄便座を利用している

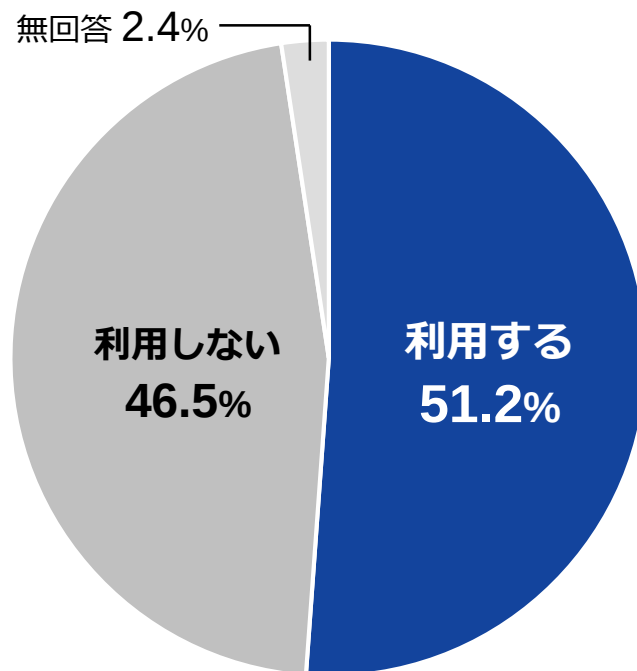
Q 7 | 外出先でトイレを利用するとき、温水洗浄便座のおしり洗浄・ビデ洗浄などを利用しますか？

全盲者



n=291

弱視者



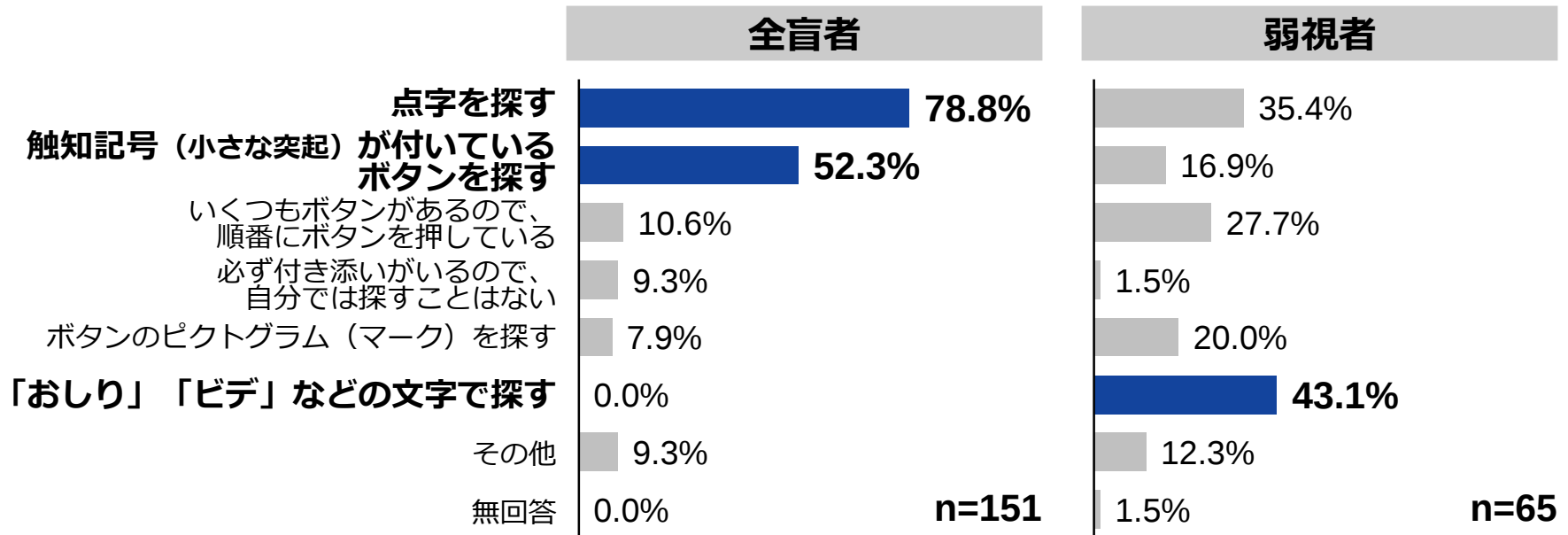
n=127

2-2.パブリックトイレ利用実態【温水洗浄便座の操作ボタンの探し方】

- 全盲者の78.8%は「点字」、52.3%は「触知記号」で操作ボタンを探している
- 弱視者の43.1%は「おしり、ビデなどの文字」で操作ボタンを探している

Q7で温水洗浄便座を「利用する」と回答した方に伺います。

Q 8 | 付き添いなど周囲の人に教えてもらうことなく、ご自身で温水洗浄便座のボタンを探す場合、どのようにボタンを探しますか？



【その他（全盲者）】

- ・ボタンの配列はほぼ同じなのでそれを覚えている
- ・停止ボタンやスタートボタンは触知でわかる突起を探す
- ・付き添いがいない場合、わからない場合は使用しない

【その他（弱視者）】

- ・「おしり」の位置は各メーカー同じ
- ・ボタン配置がきまっているので、その場所を押している
- ・拡大鏡を使う

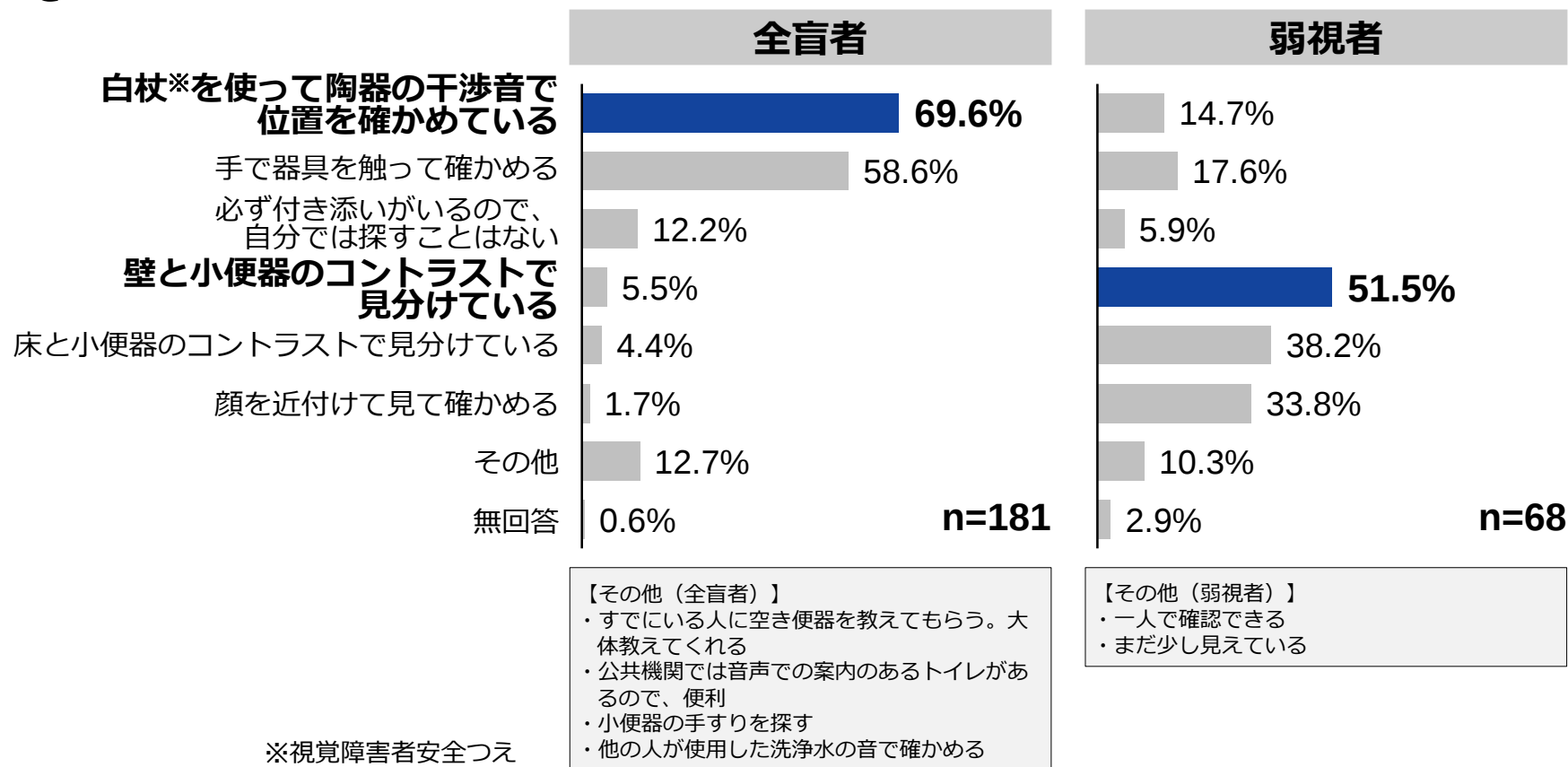
2-2.パブリックトイレ利用実態【小便器の位置の確認方法】

- 全盲者の69.6%は、「白杖を使って陶器の干渉音で位置を確かめている」
- 弱視者の51.5%は、「壁と小便器のコントラストで見分けている」

男性の方に伺います。

(複数回答)

Q 9 | 付き添いなど周囲の人に教えてもらうことなく、
ご自身でトイレ内的小便器の位置をどのように確認しますか？



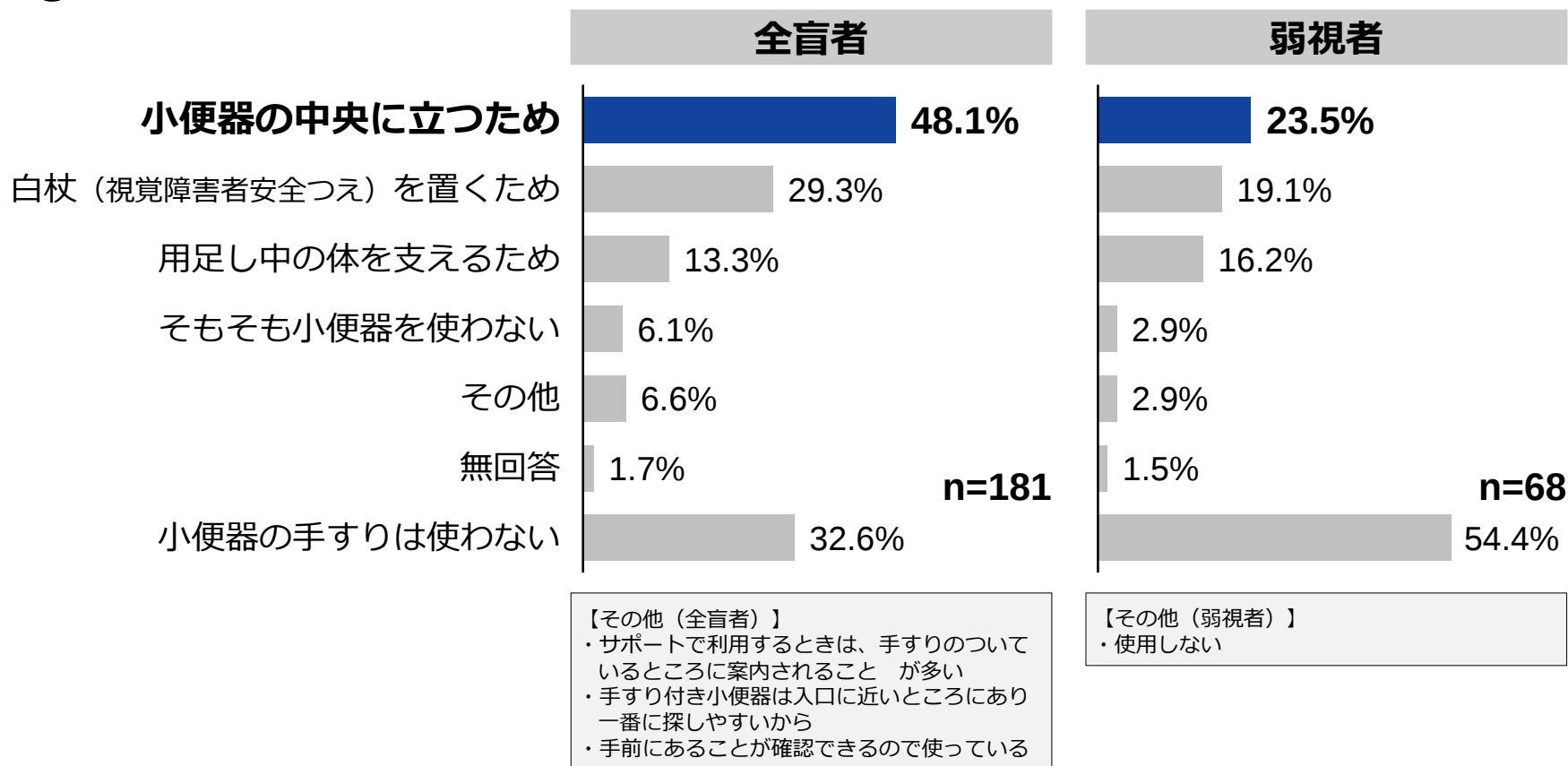
2-2.パブリックトイレ利用実態【小便器用手すりの利用目的】

- 全盲者の48.1%、弱視者の23.5%が、「小便器の中央に立つため」に小便器用手すりを利用している

男性の方に伺います。

(複数回答)

Q10 | 小便器に設置されている手すりを使用していますか？
使用する理由についてあてはまるものを全てお選びください。

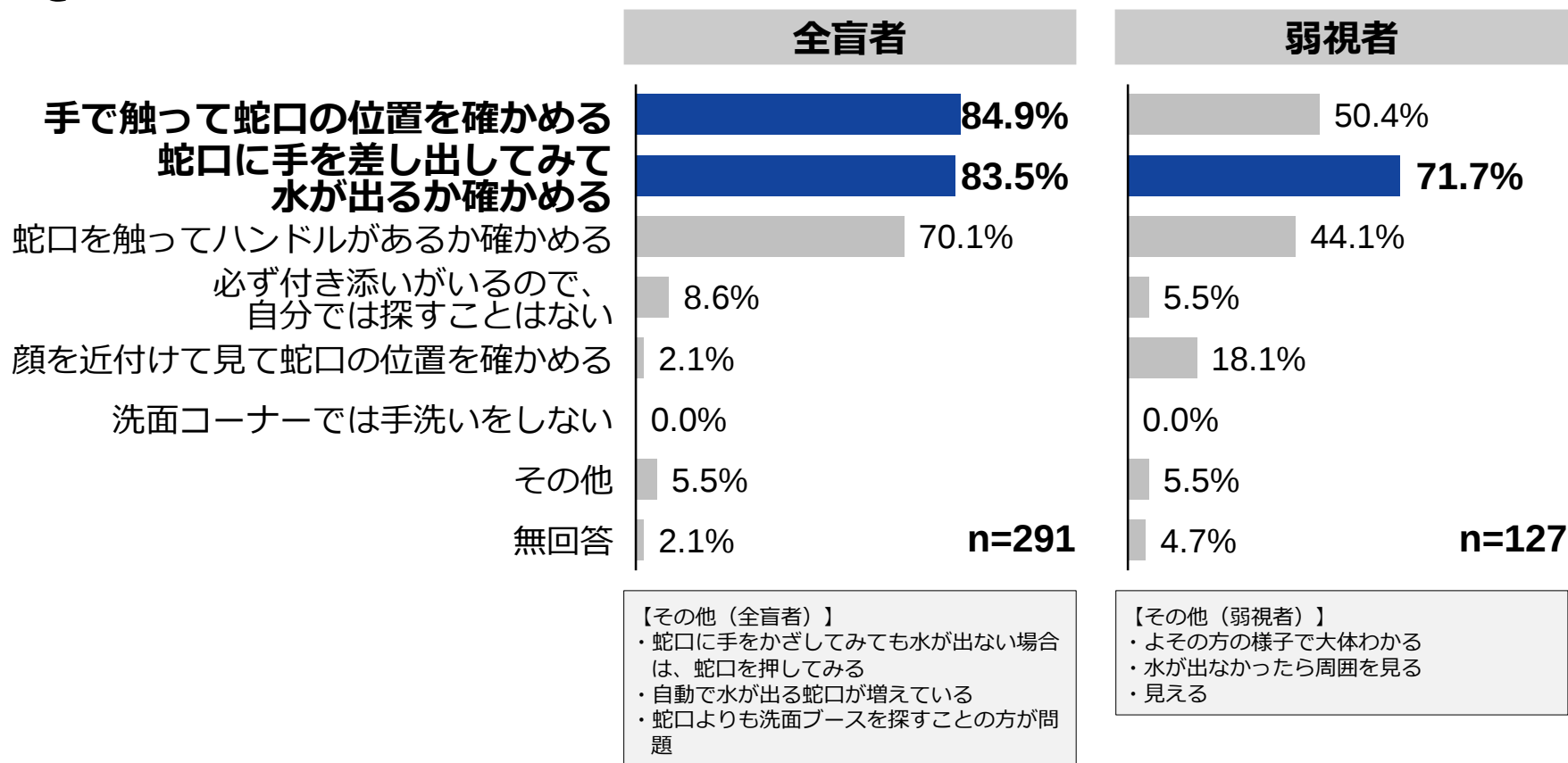


2-2.パブリックトイレ利用実態【洗面器の水の出し方】

- 全盲者の84.9%は「手で触って蛇口の位置を確かめる」、83.5%は「蛇口に手を差し出して水が出るか確かめる」
- 弱視者の71.7%は「蛇口に手を差し出して水が出るか確かめる」

(複数回答)

Q11 | 付き添いなど周囲の人に教えてもらうことなく、洗面コーナーで手洗いをする時、どのように水を出していますか？

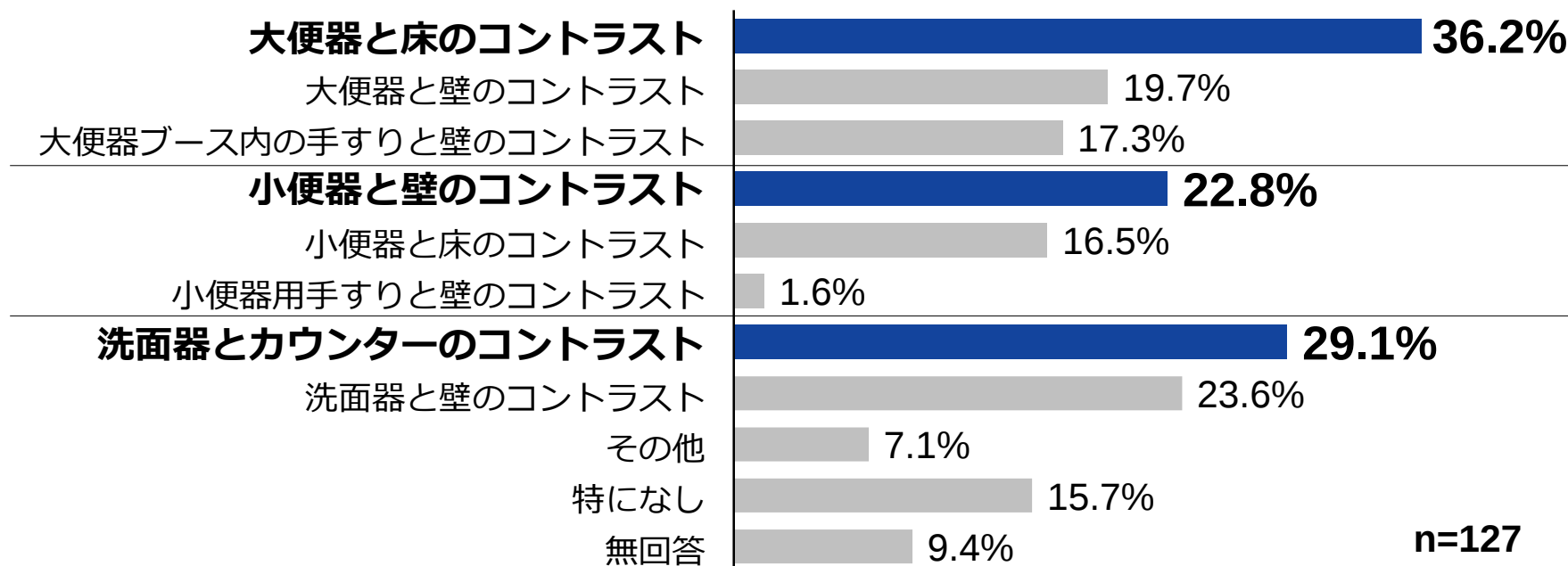


2-2.パブリックトイレ利用実態【コントラストについて】

- 大便器は「床とのコントラスト」、小便器は「壁とのコントラスト」、洗面器は「カウンターとのコントラスト」と回答

弱視者に伺います。

Q12 | トイレ内で、コントラストが特にどこについていると良いですか？
あてはまるものの中で上位3つをお選びください。



【その他ご意見】

- ・個室入り口ドアと周囲の壁のコントラスト
- ・床面と壁面のコントラスト（壁も床も白系の色で統一されていることが多く、空間の広がりがわかりづらい＝ホワイトアウトしたような感じになる）
- ・トイレのドア開閉ボタンの位置が分かるように、周囲と比べてコントラストがはっきりしていると良い

1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

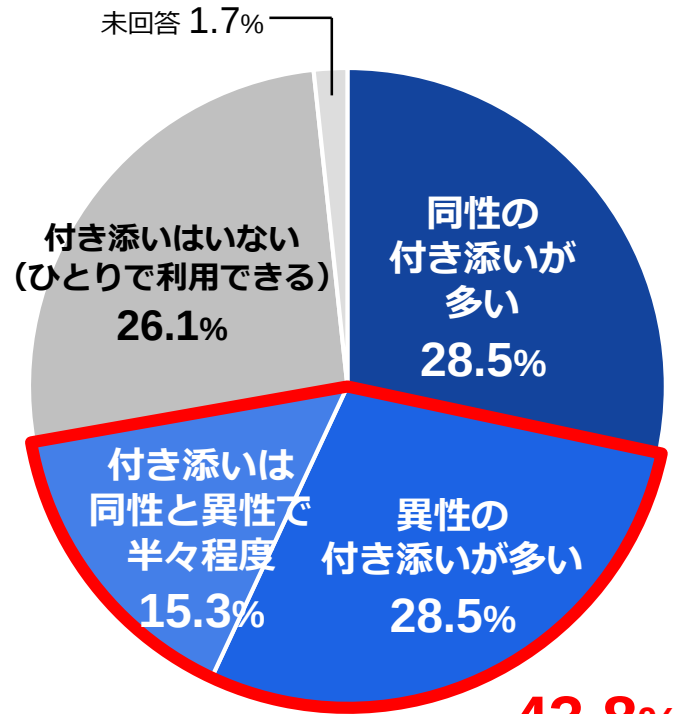
2-4 パブリックトイレへの要望

3 まとめ

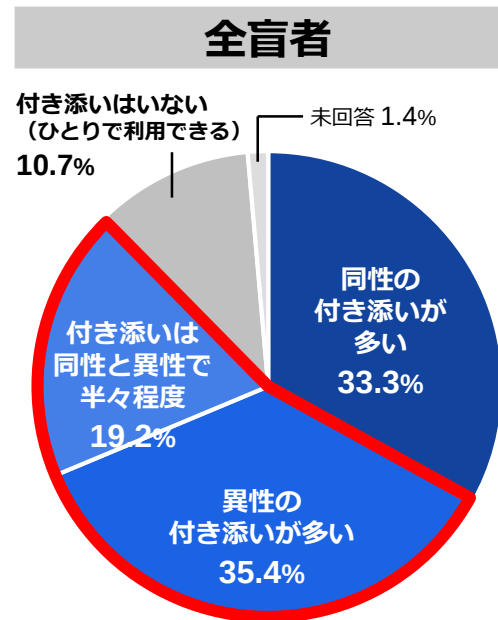
2-3.男女共用トイレニーズ【外出先トイレ利用時の付き添いの状況】

- 43.8%が「異性の付き添いが多い」または「付き添いは同性と異性で半々程度」と回答

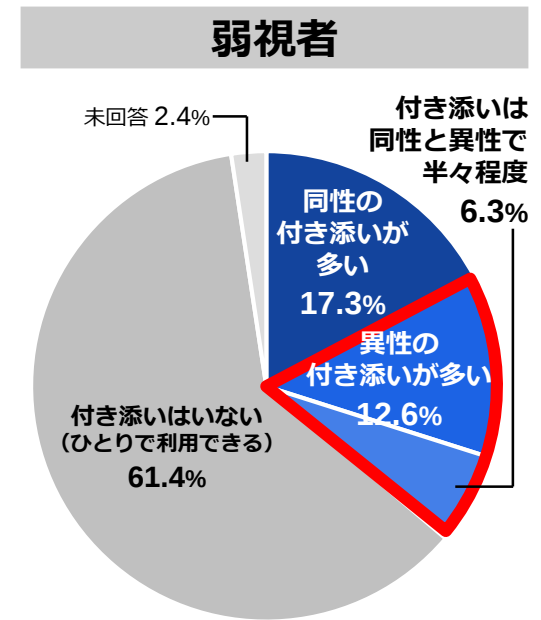
Q13 | 外出先でトイレを利用するとき、ガイドヘルパーや家族などの付き添いについて、一番近いものをお選びください。



43.8%
n=418



54.6%
n=291



18.9%
n=127

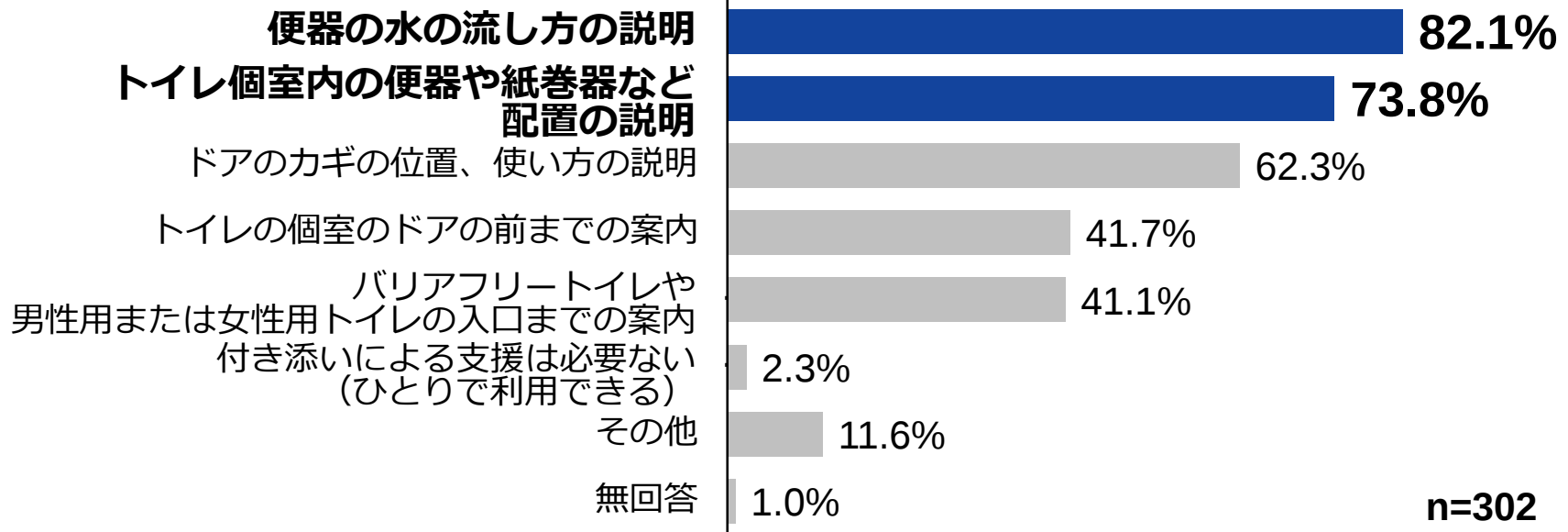
2-3.男女共用トイレニーズ【付き添いの人に支援してほしいこと】

- 「便器の水の流し方」について説明してほしいが、82.1%
- 「トイレ個室の便器や紙巻器などの配置」について説明してほしいが、73.8%

Q13で「同性の付き添いが多い」「異性の付き添いが多い」
「付き添いは同性と異性で半々程度」と回答した人に伺います。

(複数回答)

Q14 | 付き添いの人に行ってほしい支援として、 あてはまるものを全てお選びください。



【その他ご意見】

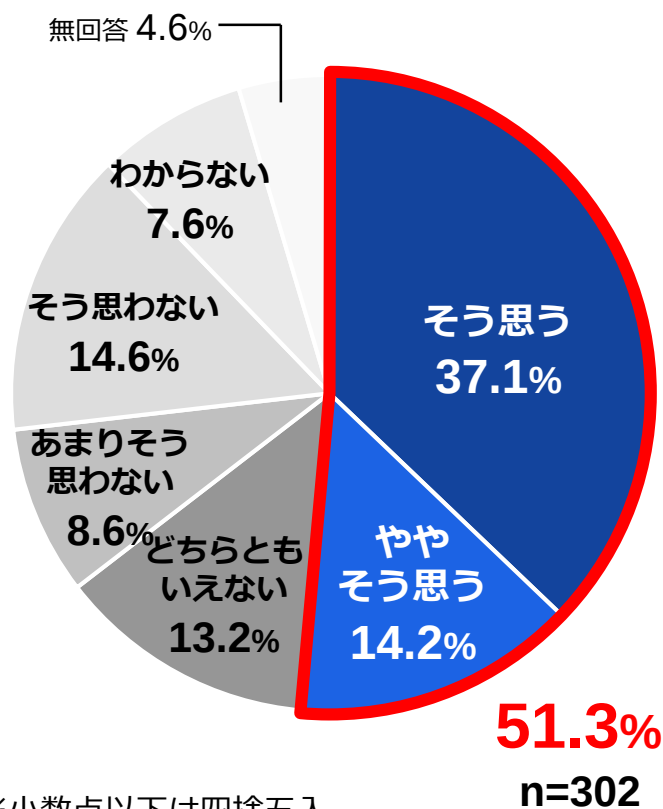
- ・手を洗う所の位置と水の出し方
- ・ゴミ箱、サニタリーボックスの位置
- ・ペーパータオル、ハンドドライヤーの案内
- ・紙巻器から紙を取出しにくい為、いつも少し出してもらっている
- ・手を洗うとき、白杖を置く場所がないため白杖をあずかってもらう
- ・荷物置や鞆かけフックの場所
- ・汚れていないかの確認
- ・呼出ボタンの位置、形状

2-3.男女共用トイレニーズ【男女共用の個室トイレを利用したいか？】

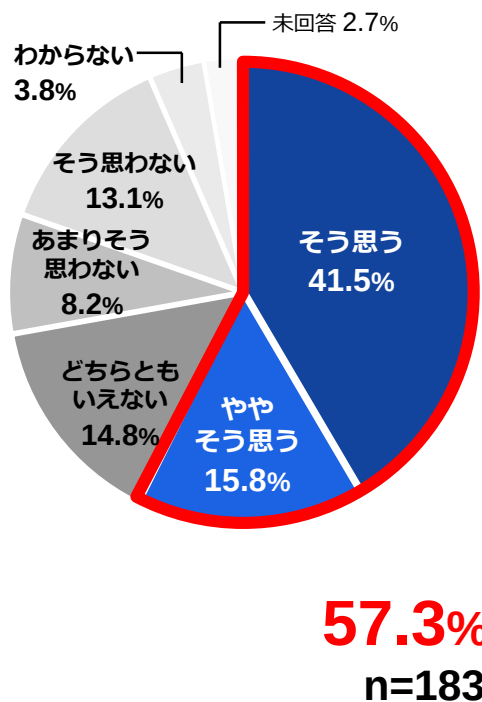
- 「付き添いの人がいる方」の51.3%が、男女共用の個室トイレを利用したい
- 「異性の付き添いが多い方/異性と同性の付き添いが半々の方」は「同性の付き添いが多い方」よりも男女共用の個室トイレの利用意向が高い

Q13で「同性の付き添いが多い」「異性の付き添いが多い」「付き添いは同性と異性で半々程度」と回答した人に伺います。

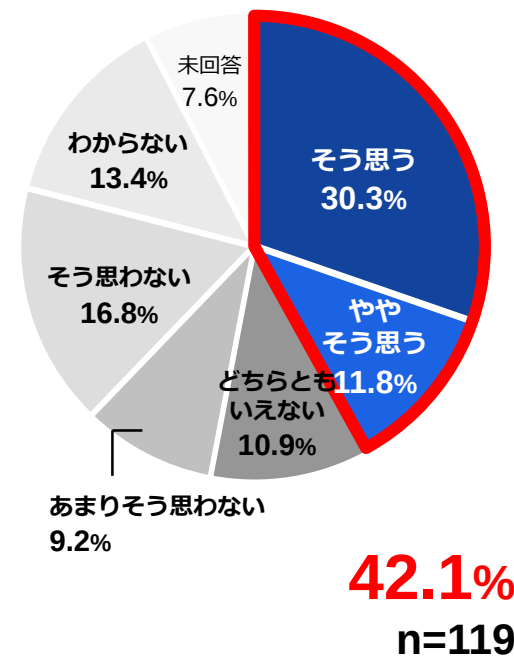
Q15 | バリアフリートイレや男性用または女性用トイレとは別に、性別に関わりなく利用できる個室トイレがあった場合に、あなたは利用したいと思いますか？



異性の付き添いが多い方
異性と同性の付き添いが半々の方



同性の付き添いが多い方



※小数点以下は四捨五入

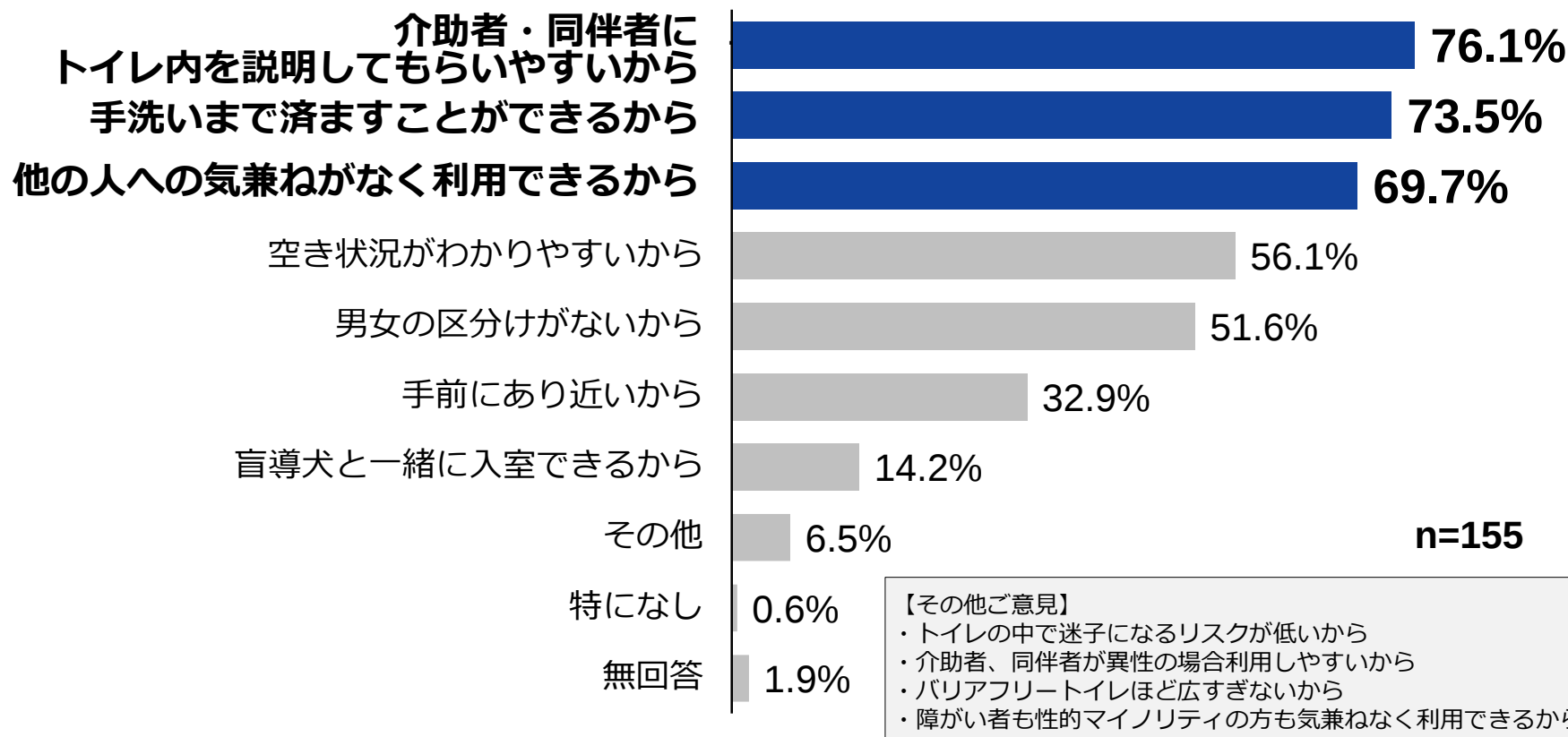
2-3.男女共用トイレニーズ【男女共用の個室トイレを利用したい理由】

- 「介助者・同伴者にトイレ内を説明してもらいやすいから」が76.1%
- 「手洗いまで済ますことができるから」が73.5%
- 「他の人への気兼ねなく利用できるから」が69.7%

Q15で男女共用の個室トイレの利用を利用したいですか？に
「そう思う」「ややそう思う」と回答した方に伺います。

(複数回答)

Q16 | 男女共用の個室トイレを利用したいと思う理由をお聞かせください。



1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

2-4 パブリックトイレへの要望

3 まとめ

2-4.パブリックトイレへの要望

操作系設備の配置に関すること

フリーコメント	見え方	年代	性別
流すボタンを探すのが一番苦労します。場所と操作方法を統一してほしい。	弱視	50代	男性
メーカーによってボタンの配置やマークなど違いがあるので統一してもらいたい。	弱視	50代	男性
場所によって、トイレ内の広さも違いますし、水を流すボタンもあればレバーもあり、一定していないのがやっかいです。よく利用するトイレは、ボタンの位置などを覚えて利用しています。機種が違えば、ボタンの位置も変わるので、ループで確かめて利用しています。	弱視	50代	女性
トイレの設置時期や年代によって、設備・器具の配置が異なるのは仕方ないとあきらめの気持ちもあります。しかし、せめて、紙巻器の上の壁に水を流すボタンが配置されているというような、最低限使用する物は近距離に配置するように統一して欲しいです。	全盲	40代	女性
個室タイプのトイレでは、温水洗浄便座のボタンの位置、ペーパーの位置、流すボタンの位置などが異なっています。出来る限り共通にしていきたいです。	全盲	50代	男性
トイレ内の配置もですが、ボタンの説明もバラバラで統一されていません。点字ラベルの内容や、配置など統一していただくと助かります。さらに、音声案内のあるトイレがありますが、「詳細はこのボタンを押して…」と言われても、ボタンの位置が視覚障がい者にはわかりません。もう少し工夫していただきたいと願います。	全盲	50代	女性
ボタンの位置や便器や手洗いなどの配置をできるだけ共有にしてもらいたい。呼出ボタンとその他のボタンの位置を離してほしい。温水洗浄便座のボタンの数が多くてわかりにくいことがある。逆に温水洗浄便座のボタンがわかりやすいものもある。障がい者用トイレで自動で流れるように設定しているところは助かります。	全盲	60代	男性
便器・紙巻器・水を流すボタンの形と位置（出来れば水タンクの横にレバー）の規格を統一してほしい。配置場所の高さ・形・位置・洗面所の高さ・形も含む・荷物掛けの位置。視覚障がい者にはメーカー毎に違いがある事が困ります。	全盲	60代	女性
トイレ内で一人で用足しができるように目印など決まりを知りたいと思いました。自分で知っていたらもっと自由にトイレを利用できるようになるのじゃないかと思いました。同伴者がいないとき、周りの人に教えてもらって利用するときのためにトイレの決まりを知りたいと思いました。どうぞ私たち見えない者が利用しやすいように配慮して頂けることを願います。	全盲	70代	女性

2-4.パブリックトイレへの要望

トイレの洗浄ボタンに関すること

フリーコメント	見え方	年代	性別
トイレの水を流したい時に流すボタンなのか、呼出ボタンなのか分からずに押すのを躊躇したことがあります。ボタンが視認しやすいよう、大きい表示や見やすい位置にあるボタンだと助かります。	弱視	30代	男性
「流す」と声で洗浄できたらよい。	弱視	40代	女性
メーカーによるものかわかりませんが、「大」の流し方を統一していただきたい。「小」は、ほぼほぼ自動で流れるようになってきていますが、「大」は自動で流れるところが少ないと感じます。「大」も自動で流れて欲しいです。	弱視	60代	男性
流すレバーやボタンがわかりやすい表示（拡大、コントラストをつける等）を配慮してほしい。	弱視	60代	男性
センサーによる自動洗浄システムは分かりにくく、汚物が流れたかどうか分かりにくいいため、自動センサー式のものとは別に必ず手動でも流せる洗浄レバーやボタンを設置してほしい。	全盲	40代	男性
とにかく流すボタンが解りません。レバー付のタンクがあれば良いですが、ない場合毎回流すのに苦労します。ボタンの場合、呼出ボタンも一緒にあるので片っ端から押すのも気が引けます。呼出ボタンは少し離れた所に独立して設置してあると使いやすいと思います。	全盲	50代	男性
設備をあまり付けすぎず、最低限の設備の方が、視覚障がい者にとっては使いやすいと思います。また、洗浄ボタンもボタンではなく、昔ながらのレバー式が一番使い勝手が良かったりします。	全盲	50代	男性
「流す」ボタンにせめて点字ラベルを張ってほしい。また、「流す」ボタンがなく、手をかざすだけ、とか、自動的に人感センサーで流れるものとかについてはとても困っている。「流す」ボタンをひとしきり探して、見つからず、あきらめて「ごめんなさい、このまま立ち去ります」と決めてその場を離れると流れたりしてびっくりしている。	全盲	60代	男性
すべてのバリアフリートイレの操作の位置をすべて同じ位置にして欲しい。あと流すボタンは、丸かったり、四角だったり、手をかざすだけで水が流れたり、用をしたあと立っただけで流れると戸惑ってしまうので、規格を全部同じにして欲しい。普通は同伴者と一緒だから説明を受けて用足しをするのだが、便器で流すところがわからなくなって間違えて呼出ボタンを押してしまったことがあって、ガードマンさんや管理人さんに迷惑かけたので、できれば規格を統一してもらいたい。	全盲	60代	男性
各メーカー、水を流すスイッチの形、大きさを共通してほしい。公共の場や、障がい者用トイレだけでも共通設置にしてほしい。	全盲	60代	男性

2-4.パブリックトイレへの要望

温水洗浄便座のリモコンや呼出ボタンに関すること

フリーコメント	見え方	年代	性別
特にリモコンについては統一して欲しい。機種によっては場所が異なるので探すのが大変。	弱視	70代	男性
操作パネルは、シンプルなデザインが良いと思う。 呼出用の引っ張る装置は少し離れた位置がよい。（間違いやすい）。 点字使用者は、点字があれば安心だが中途失明者は、点字が読めない方もいるので一部音声と手動を組み合わせた設置が良いと思う。	全盲	50代	女性
各ボタンの説明を点字で示してもらいたいのですが、点字を読むことができる視覚障がい者はごくわずかでこれからますます減少します。 現在でも多く採用されているストップの「マイナスのマーク」や流すの「小さな点のマーク」の様な触知記号をもっとすすめてもらうほうが、もっとも有効であり本当のバリアフリーになると思います。 例えば「四角マーク」は洗浄、「三角マーク」はビデ、「丸のマーク」は乾燥などです。もちろん各メーカーで共通することが必須となりますが。	全盲	60代	男性
私達、視覚障がい者にとってタッチパネルは困る。できれば発信機を使い音声が行くようにお願いしたい。	全盲	70代	男性
押しボタンが緩やかなもりあがりの場合、点字表示があっても、位置がわかりにくい。特にボタン形状が大きい場合はもりあがり角度を大きくしてほしい。ボタンができるだけ鋭角に立ち上がっているようにしてほしい。ボタン上の記しが「ー」や「・」の他にも記しなどがあつたらよいのではと思う。あるいは、「ピッピ」音や「ピー」音などでボタン判別ができるようにしてほしい。	全盲	80代以上	男性

2-4.パブリックトイレへの要望

その他（異性介助やバリアフリートイレについて）

フリーコメント	見え方	年代	性別
場所によっては障がい者用トイレがない場合もある。出来れば完備してほしい。	弱視	50代	男性
あまりにも広いのでどこに何があるか迷うことがあります。	弱視	70代	女性
バリアフリートイレは広すぎて、視覚障がいのある方は使いにくい。迷子になってしまう。	弱視	70代	女性
バリアフリートイレは、障がい者専用にして欲しい。	全盲	50代	男性
私がバリアフリートイレを使用する時には盲導犬の世話をする目的もあり、どうしても時間がかかってしまい、車いす使用者などを持たせていないか気兼ねする。しかし、多くの場合、バリアフリートイレは1室なので、それぞれの場所に2室ずつぐらいはあってほしい。	全盲	50代	女性
時折、男性・女性トイレ内にバリアフリートイレが設置されていることがあり、異性の介助者の場合、連れて行ってもらえないことや、異性側のバリアフリートイレに連れて行かれることがあります。バリアフリートイレは男女と独立した位置に設置していただきたいです。	全盲	50代	女性
男女兼用のトイレは、「間違えて入ることを防ぐ点」では良いと思うし、利用目的上で必要とする方のためにはあったほうが良いと思う。しかし、防犯上の心配もあるので、設置には工夫が必要だと思う。	全盲	50代	女性
バリアフリートイレにも小便器を設けて欲しい。	全盲	60代	男性
多目的トイレの位置について、このごろ、多目的トイレが男子は男子トイレの中に、女子は女子トイレの中にそれぞれあるケースがある。これはとても困る。男女共有ならば、多目的トイレもさがしやすいし、音声案内もあるのだが、それぞれの男女別にそれぞれの中にある場合は音声案内もない。異性にガイドしてもらっていると、男女別に多目的トイレがあるとそこまで案内してもらえない。異性のガイドでもこれまで通りの男女共有多目的トイレだったらドアまで案内してもらえたが、別々にそれぞれ多目的トイレがあると案内を受けられない。	全盲	60代	男性
今は、ほとんど妻の誘導で外出をしていて、急な腹痛などでトイレを利用したいときに妻に男子トイレと一緒に入ってもらうことが申し訳ない。バリアフリートイレが増えれば助かります。	全盲	70代	男性
バリアフリートイレは外出時よく利用しますが、男性用トイレ、女性用トイレの中にあるより、どちらも入れる場所にあるほうが、付き添いが一緒に入って説明してもらうためには便利です。	全盲	70代	女性

1 調査概要

2 調査結果

2-1 回答者属性

2-2 パブリックトイレ利用実態

2-3 男女共用トイレのニーズ

2-4 パブリックトイレへの要望

3 まとめ

3.まとめ

パブリックトイレ（外出先のトイレ）の利用実態

- 外出先のトイレ利用時の困りごとは、「便器の洗浄方法や洗浄ボタンの位置がわからない」が最多で、全盲者の53.6%、弱視者の38.6%が「毎回見つけられない」「見つけられないことが多い」と回答。
- 「洗浄ボタンの探し方」は、「紙巻器の上など、決まった位置を探す」に続いて、全盲者は、「点字」「大きなボタン」「ひとつだけ独立しているボタン」「丸い形」「触知記号」などを頼りに、弱視者は「流すなどの文字」を頼りに探している。

男女共用トイレのニーズ

- 外出時に付き添いがいる方の51.3%が「男女共用の個室トイレがあれば利用したいか？」との設問に「そう思う」「ややそう思う」と回答。付き添いが異性の方は、付き添いが同性の方よりも男女共用の個室トイレの利用意向が高い
- 男女共用の個室トイレを利用したい理由として、「トイレ内を説明してもらいやすい」「排せつから手洗いまでの行為を一か所で済ますことができる」「他の人への気兼ねがなく利用できる」が多い。

パブリックトイレへの要望

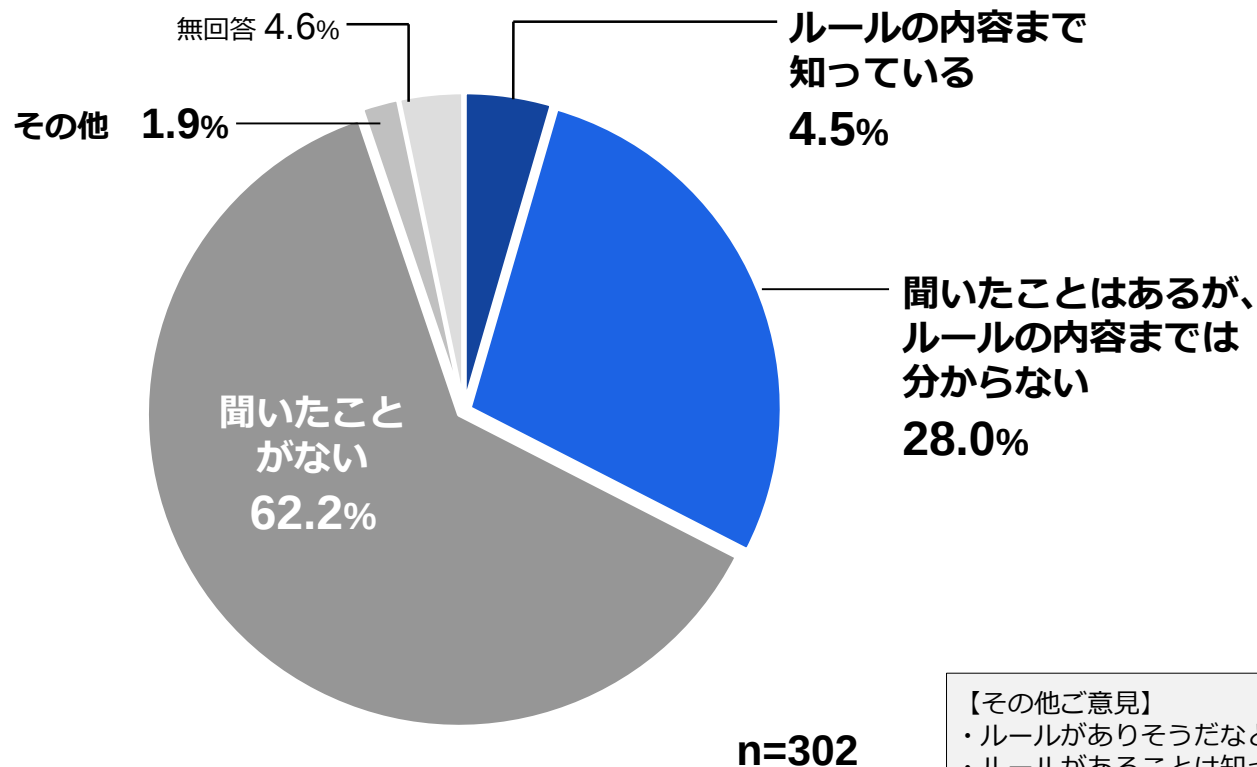
- トイレ壁面の「操作系設備の配置の統一」「操作ボタンの形状、表現の統一」を望む声が多い。トイレにおける操作系の形状や配置ルールの普及が、一人で自由にトイレを利用できることにつながるという声をいただいた。
- 「異性の付き添いと外出した際にも利用しやすい配慮」を望む声が複数あった。

視覚障がい者にとって、外出先のパブリックトイレの「操作系設備の配置の統一」を図ることの重要性を改めて確認できた。2007年に制定された「公共トイレにおける便房内操作部の形状、色、配置及び器具の配置（JIS S 0026）」の普及が望まれる。またパブリックトイレに「男女共用で利用できる個室トイレ」を設けることは、異性の付き添いを伴う視覚障がい者の外出先トイレの利用のしやすさにつながる。

参考【公共トイレ操作系JIS（JIS S 0026）の認知度】

- 「ルールの内容まで知っている」は4.5%
- 「公共トイレ操作系JISについて聞いたことがない」が62.2%

Q | 公共トイレ操作系JIS（JIS S 0026）についてご存じですか？



【その他ご意見】

- ・ルールがありそうだなとは認識している
- ・ルールがあることは知っていたが、JIS規格だとは知らなかった。
- ・聞いたことはあるが、ルール通りに作られていると思っていない。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

TOTO